

事業所名

まちなかハウスぽっけ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

R8

年

3月

30日

法人（事業所）理念		共に育つ、共に感じる、共に生きる			
支援方針		子どもがその子らしくいられる居場所の提供 個性や特性を認めながら、地域で年齢・障がいの枠をこえた支援 生きる力をつける 愛される人になる			
営業時間		平日 10:00～18:00 土曜日・長期休暇 9:00～18:00	送迎実施の有無	あり	平日の学校迎えあり。 平日帰り、土曜日・長期休暇は基本的にご家族送迎。 ご家族の都合等により、送迎を行う。
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	学校への迎え時に学校での様子を、自宅送迎時に家庭での様子を把握する。連絡帳を通じた心身の状況、睡眠、食事、排泄状況の把握。 身体の傷や様子など、通常との違いに気づき、気にかけながら、共有し支援にあたる。子どもからの体調不良の訴えに耳を傾ける。 基本的な生活習慣を身につける（靴を下駄箱に入れる、上着をかける、連絡帳を出す、かばんをカゴに入れる等）。 余暇の時間の使い方を、自分自身で考えて選択できる力をつける。 外での活動を積極的に取り入れ、のびのびと身体を動かし、健康な発育を促す。 食育・調理活動を通じて、偏食と向き合い、食物を口に入れることの大切さや美味しいと感じることの喜びを知る。			
	運動・感覚	肢体不自由児の身体能力を生かした、個々に合った身体の使い方を意識した支援（車いすへの移乗、送迎車の乗降、トイレ介助等）。 日常生活動作や軽作業、軽運動を通して協調運動を滑らかに行えるようにし、生活の質を保つこと・向上することを支援する。 感覚過敏・感覚鈍麻に対する理解と配慮、自助具なしで過ごせる環境の設定。 年齢に応じた運動機会の提供。公園や散歩など外に出かけることで、五感で自然を感じられる活動を取り入れる。 音楽に触れ、聴く・歌う・踊る・演奏することで、「楽しい」「元気」「リラックス」「眠い」などの感覚を心で感じることを促す。			
	認知・行動	個々の認知の特性を知り、適切な環境設定に努める。個別や小集団での活動と集団での活動を意識した支援を行う。（「らしさ」と「協調性」を天秤にかけている意識を持つ） 具体的な場面で意思決定できる機会を作る。決定や選択のプロセスを経験し、個々に合わせた選択肢の数や提示方法の工夫をする。 ボードゲームやロールプレイングで協力して達成すること、勝敗や順番があることなどを知り、ルールやマナーを学ぶ。 視覚支援等で見通しを持って行動パターンを確立していく。→視覚支援や環境設定の工夫で行動に結びつける。→視覚支援を段階を踏んで少なくし、自発的に適切な行動をできるように支援する。イレギュラーにも対応する力を身につける。 同じ活動を定期的に繰り返し経験し、子どもの変化や環境を細かく観察・分析する。（子どもの精神状態、人的・物理的環境）			
	言語 コミュニケーション	困ったこと、助けてほしいことを周囲に発信できるようにする。 言語表現が難しい子どもの、個々に合った表現方法を一緒に考える。（ゼスチャー、カード、写真） 何らかの表現で発信されたことを、支援者が汲み取り端的な言語表現で伝えることで言葉の習得や理解を目指す。 感情表現、特に負の感情（拒否、怒り、不安など）を一旦支援者が受容し適切な表現方法を考え実践する。負の感情が子ども同士で衝突する時に、支援者は適度な距離を取り見守る。 「何となく」「常識」「空気を読む」等で済ませられそうなことを感じるのが苦手な子どもに対して、具体的に言語化することで曖昧さやモヤッと感を軽減する。 相手や場面に応じた会話を日頃から実践する。			
	人間関係 社会性	学校で頑張ってきた疲れを癒し、穏やかに安定した情緒を保ち、第二の家庭としての中継地点の役割を果たす。 無理してできないことを克服するのではなく、できる人とできなくて困っている人が補い合える仲間づくりを促す。できない人ができなくてもそのまま大丈夫という雰囲気づくり。 他者との関わりで起こる化学反応を大切に、高めあえる仲間づくりを支援する。 自己主張と他児の声に耳を傾けることを小集団の中で繰り返される機会を設け、集団への参加と社会性の向上へとつなげる。 個々の強みを発揮して誰でも役割を担える・主役になれる機会を設け、周りに認められることで自己肯定感がアップするような支援をおこなう。			
家族支援		事業所への帰りの迎えは家族送迎が主で、子どもの様子を見ていただき、当日担当職員と家族が直接顔を合わせて様子を細かく伝える。リアルタイムな家族の困り感や気付きを生の声で把握する。 悩みや問題の兆しがあれば、早めに面談の機会を設ける。 ご家族が日々苦勞して対応していることを労い、自事業所でするレスパイトケアを提案する。 親子で過ごす時間大切さ 放課後等デイサービスの枠を超え、就労・年金・福祉サービス等について、将来を見据えた相談支援を行う。			

移行支援	
地域支援・地域連携	あいさつ
職員の質の向上	
主な行事等	